

恩師訪問

長崎淳子先生

母校で勤務された方の近況をお伝えする「恩師訪問」。十回目の今回は英語の長崎淳子先生。六月九日(月)、同窓会館羽城館にお越しいただき、広報委員、佐藤裕紀子(平成四年卒)がお話しをうかがった。



「ケーブタウン」子供たちと遊ぶ

秋田高校に勤務された頃のことをお聞かせください。

秋田高校には平成二年から十四年間にいました。どのクラスもよく勉強する人が多かったから、私は満足でした。

秋田高校で教えていてすごいと思ったのは、例えば生徒を注意すると、年頃だからなかなか素直にいかない子もいますよね。あきらめて、その子から離れて黒板のほうに戻る間に、級友たちがお前やつているんだという感じでその子を見たり言ったり。それで注意された生徒もちゃんとなくなっていました。叱って、その生徒と危うい雰囲気になっ

ても、大抵周りの生徒がその場をまとめてくれるというか、平和にしてくれるのね。教室で勉強するときはきちんと勉強する、無駄な時間を先生にも使わせないといい雰囲気でしたね。生徒同士の間関係が大人で、教室の空気は程よく張り詰めてたわよ。

秋田高校での思い出をお聞かせください。

当時楽しかったのは学級対抗ね。柔道は全部見ました。私の決まった席もあつたの。間近で生徒たちが一対一で試合をやって、先生たちも参加するでしょ。先生たちが投げられることもありました。そのときの生徒の顔は忘れられない。

甲子園も行ったわよ。春も夏も。夏なんかは、甲子園行きの電車の通路に新聞紙を敷いて寝ましたよ。着いて球場

に入っていくと、あまりにも暑くて、最初に座ったとき、ジュツって音がして焼き肉になるかと思いました。かちわり氷の意味が初めて分かりました。桐蔭戦の時、私は最後まで勝ったと思っていたの。みんな騒ぐから、勝って騒いでいると思っていたの。

花園にも行きましたよ。必死になって応援して勝った時は感激でした。

野球部の子達は、私が冬にうぐいす坂でエンコすると、押ししてくれましたね。何人も合宿所の外に出てきてくれてね。

それから、マークリーダー

新しい出会いが収穫

一生懸命好きな勉強を

退職されてからはどのようなにお過ごしですか。

アメリカ映画で老女たちが麻雀をやっているシーンがあったの。それで麻雀教室に一年通いました。

その後、ピースボートで南半球世界一周をしました。佐藤英先生を誘って、百五日間の旅でした。南アフリカでは黒人が住む地域に行つて子供

を買ってもらったことがありました。そのころ英語の成績が悪くて。マークリーダーを、とにかく使うにいいだけ使つて生徒に課題を出したの。曜日によって用紙の色を変えてね。そしたら十一月の肝心なときにカクンと成績が上がつたの。センター試験の平均点は八割をこえました。あのときはうれしかった。マークリーダー様々。

三十の頃に教師としての自信をなくしたことがあります。

自分のものを全部生徒に吸い取られた感じがして。次の年から五、六年、毎年夏休みに自己研修をしました。ア

一人旅。

一昨年は二週間、ドイツに一人旅。

今は囲碁教室に通っているの。おもしろいわよ。新しい友達ができただのは収穫。性別も年代も職業も色々で。それから、日本舞踊をやっています。日本舞踊をする人は八十歳を過ぎてもしなやかに踊っているじゃない。

秋高生へ一言お願いします。

高校生だから、好きな授業をいっぱい突っ込んで一生懸命勉強してほしいと思う。先生よりできる教科がある子もいますよ。